

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】令和 2 年 10 月 1 日 (2020.10.1)

【公開番号】特開 2019-62430 (P2019-62430A)

【公開日】平成 31 年 4 月 18 日 (2019.4.18)

【年通号数】公開・登録公報 2019-015

【出願番号】特願 2017-186164 (P2017-186164)

【国際特許分類】

H 0 4 S 1/00 (2006.01)

H 0 4 S 7/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 S 1/00 5 0 0

H 0 4 S 7/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 8 月 19 日 (2020.8.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 2】

本実施形態にかかる プログラム は、コンピュータに対して、処理方法を実行させるプログラムであって、前記処理方法は、オーディオ信号用のフィルタの周波数特性を取得するステップと、前記周波数特性を平滑化して、平滑化特性を求めるステップと、前記平滑化特性のボトム位置に基づいて、複数の分割候補点を決定するステップと、前記複数の分割候補点に基づいて、1 つ以上の帯域分割点を決定するステップと、を含むものである。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 8】

$s F' [w] * s F' [w + 1]$ が 0 より 小さくない と判定された場合 (S 1 0 5 : N O)、あるいは、 n をインクリメントした場合 (S 1 1 0)、 w をインクリメントして、ループ処理を繰り返す (S 1 1 1)。したがって、候補点決定部 2 1 3 は、全周波数点に対して、S 1 0 5 ~ S 1 1 0 の処理を実施する。ここでは、 w が W_{max} に到達するまで、候補点決定部 2 1 3 は、 w のループ処理を継続する。これより、候補点決定部 2 1 3 が、平滑化特性の全ての極大値、及び極小値を抽出することができる。候補点決定部 2 1 3 は、全ての極値の周波数点、及び振幅値を記憶する。なお、平滑化特性が極大値の場合、 $value [n]$ は正の値となり、平滑化特性が極小値の場合、 $value [n]$ は負の値となる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 1】

